

第三十三回句会 俳句

【高点句】

- ☆それぞれに正面ありて花菖蒲 〈明美〉
☆友逝きぬ金魚の吐息泡ひとつ 〈千恵〉
☆蜜豆や男の愚痴を癒したる 〈明美〉

【各自一句】

- ・緑蔭の砂場に残るミニシヨベル 〈一馬〉
・ふくらみてまたふくらみて滴れり 〈眞澄〉
・下闇や弁天堂の明々と 〈きさ〉
・風わたる飛鳥の雅な花菖蒲 〈童心〉
・校舎より我が名呼ばれる夏の朝 〈青蛙〉
・聞き慣れぬ言葉野太き木下闇 〈静〉
・眠さうな一人ぼつちの金魚かな 〈明美〉
・大玉小玉紫陽花をゆらす雨 〈安津子〉
・風そろりしばし柵田の昼寝かな 〈茂〉
・緑蔭のカンバス男の破れ帽 〈千恵〉
・駆け抜けて地蔵が守る木下闇 〈莫院〉

*以上、33句（3句ずつ11名）より、選句は14名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は、第2位が同点で2句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載）